いわき民報

平市田町四八番地 電三八一番
編輯兼發行人 印刷人 千輝克巳
日刊 但月曜を除く
定價一ヶ月二十円一部七十錢
發行所 いわき民報社

農村文化の指導にも
農試分場の指導面も變革さる

農試石城分場では今までの主食一點張りの指導を一擲して農村の文化を高めるための指導に重點を置くべく化學と經營の面に力を入れその手始めとして今後は優良種子の育成につとめる

狹い國土を有効に活用し食糧の確保を圖つて且つ文化の向上をめざすのには輸出向きの經營と文化向上のための經營が先決でありこのためには花き類や果實の種子についても相當研究し普及しようとするものである

一面各學校では生徒を動員して主食重點の栽培につとめているが、これも一寸とした工夫で土手や作物との中間に草花を栽培とこれを通じて子供に花を愛する氣持を養しない更にこれを街頭で賣却することによつて學校の資金を得更に市民も子供たちの作つた草花で家庭を潤すことにもなりこうした文化を高めるための園藝等は今…どしく學校側へも呼掛け奬勵したい計畫である

西田分場長談

輸出向けの園藝では泉村のメロン栽培は戰前盛んなものだつた、今後はこうした輸出品の育成に努力したいボタンチユウリツプなどは有望な花きであり地方の土地柄にあつたものを研究して奬勵する考だ、そのためには優良種子の育成が大切と思うので今年はこの點に力を入れる、農村へ文化の香りをしみ透させるためにも必要である

石炭海上輸送取止か
突如中央本團から中止勸告 支團と港灣會社側は面食う

配炭公團常磐支團では小名濱港を利用する石炭の海上輸送を計畫、既にその第一船日報丸（五百トン）が東京芝浦港を出帆し十三日には入港するものと同港埠頭へ取敢えず三百五十トンの石炭を運んで待ちあぐんでいたところ同日朝に至つて東京本團から

「小名濱港を利用して石炭を運んで見たところで設備も不完全であるから円滑に行かぬと思うし一應この計畫を取止めてはどうか」

と連絡があつたので同支團でも吃驚、折角運んだ石炭をまた逆輸送する譯には行ぬから是非第一船だけは廻港をたのむ旨折衝中で置去りを喰つた石炭を中心に支團側は勿論小名濱港灣會社もかん〳〵に立腹しており一方的な東京本團の行動に憤慨しておりその成行は注目されている

小名濱町の釀造鹽配給

小名濱町では二十二年度自家用みそ釀造用鹽追加分として一人當り五百グラムずつ配給する、日取は十五六の兩日

財務勞組もストへ
きよう職場大會で

全國財務勞働組合平支部では十二日午前十時から職場大會を開き、中央斗爭委員會からの指令にもとづいて基本賃金外七項目の卽時實施要求を決議、十三日午後一時から決行大會を開き、十五日午前零時を期し二十四時間ストを實施する爲の準備を固めた

部課長の人選を

平石炭局第三回設立準備委員會は十三日午前十一時から、市内勞働會館に開き、石田仙台商工局石炭部長、木村平商工局出張所長、初代平石炭局長と内定した齊藤政氏外炭鑛關係代表者連數名出席のもとに新設される石炭局各部の部長、課長の選考を行つた

一切自治的に

四月六日に開校決定
市の夫婦學級

家庭生活の明朗化は先づ新しい時代の息吹きを夫婦ともに學ぶことからと一今度平市にも夫婦學級が設けられるが、その打合せ會は十二日石城地方事務所に開かれ、敎育關係市内文化團体代表らの出席のもとに種々話し合つたが、夫婦學級の入學資格は原則として夫婦たるものは誰れでも自由に入學出來るが、未亡人後家さんはその限りではないそうで、申し込みは市役所敎育課へ本月の二十五日まで授業は一ヶ月四回（火曜日）午後七時から九時迄、會費は未定だが、場所は公會堂日本間とし四月六日（火曜日）から新出發する、授業方法はチームに互選の級長を設け當夜の司會者となり次回の勉强問題をお互に定めあつて、その都度講師を招く、問題は主として家庭生活の諸問題をとりあげ、卒業期間は一ヶ月、主催は平市役所後援は地方事務所となつているが、この夫婦學級は常に自治制度で運營することが原則會費の件もチームが出來てから自治的に決定する樣になるが主催側では各階級の夫婦達の入學をのぞんでいる

性病科 内科
平市飯田町 矢吹醫院 電828

麥供出者に鹽特配

小名濱町では十七日二十二年度大小麥の供出者に對して食用鹽一石當り一キロの特別配給をなす

スト決行の準備大會を

全遞平支部では十四日午後一時から全遞會議室で十五日午前零時を期し敢行されるスト突入に對する大會を開き、その準備を固める

米代替パン追加配給
市部一人五個、郡部は三個

米代替のパン配給は十日から開始され平市は本月分は一人二個郡部は一個となつていたが、その後の粉の割當や米配給操作面から本月中に更に市部は一人三個ずつ、郡部は二個ずつ追加配給に決つた、從つて今月市は一人五個、郡部は三個となるわけである、どうせ五個だまとめてとれとなると、その五個をつづけざまに食はねばならぬことになるから、この點消費者は適當に按配して消化して貰いたいと平製パンでは語つている

ジープからカメラ盗む
僅か十九才の少年が大膽にも

去る四日夜八時頃湯本町字三函旅館業松柏館前に停車中のジープから時價四万円相當のカメラを盗み湯本署に檢擧された、この少年は同町無職菅野常二（一九）＝假名＝でこのほか同町を中心に衣類、皮靴など手長を働き通行人などを脅かしては金品を卷き上げていた

製鹽工場全燒す
四倉の火事 損害は三百万円

十二日夜十時半頃四倉町字しじみ川製鹽業本田辰吉さん（七七）方から發火、製鹽工場二棟九十坪を燒いて全十一時頃鎭火した、損害約三百万円原因は漏電らしいが調査中

いわき寸言

◇農試が主食ばかりでなく農村文化面の指導にも乘出す、善哉〳〵

◇サテ内閣は生れたが、國民を救う祕策はまだですか

◇政策の羅列よりも先づ大衆の生活權の確保を一つでもやつて下さいナ

獨占公開 次週に迫る
一九四六年フランス映畫コンクール 一等當選作品
ジャンコクトオが全世界の人々を驚倒せしめた映畫界未踏の境地に描いた世紀の傑作巨篇
美女と野獸
パリ・デイシナ映畫社製作 S・E・T提供
總天然色映畫 日本語版
Jアーサランク製作 英國からのプレゼント
エリザベス姫 エヂンバラ公 成婚の御盛儀
十六日堂々封切 絶大の御期待を
内郷 第二イワキ 電話十二番

當選御禮
湯本町罐詰小賣業 （順不同）
田中久次郎（上町）
三坂屋（横町）
後藤酒店（裏町）
大江長造（上町）
大矢七六（寶海）
吉田恭平（横町）
石川傳吉（天王崎）
鈴木イソ（水野谷）
庄司濱吉（天王崎）
若松屋本店（入仙）

高木重夫儀昭和二十年三月三日比島ルソン島にて戰病死致しましたところ遺骨もこの程到着致しましたので十四日午後一時自宅出棺菩提院にて葬儀を營みます 生前の御厚誼を拜謝しこゝに偕んで御通知申上げます

昭和二十三年三月十三日
平市田町三〇
母 高木アイ
高木宇平
外親戚一同

昭和二十一年六月一日
（第三種郵便物認可）　昭和二十三年三月十四日　いわき民報　（日曜日）　第五百六十五號　（二）

安藤對馬守信正
信正と内治政策
維新史料。藤澤氏資料による

史談會員　鈴木光四郎

信正の平藩政

（磐城文化史より）

信正は老中として中央政府の最高責任者として活躍していたために平藩の民政に努力する余裕がなく從つて藩政上に於ても特記する史料がないので文化史より引用する次第である。

信正が藩主であつた頃は石城地方に於ては學問が盛になつた。信正の用いた學者の一人室鳩巣はその代表的な人物であつて經史詩文兵學に長じていた、機敏は平藩の儒者となるや施政堂を中興し之を佐賢堂と改名して擴張して文教の伸展と人物の育成につとめた彼の主宰した平藩塾は最も榮えその代講は大須賀均軒であつた。均軒は詩文書畫歷史地理に通ずる博學者であり後に第二高等學校教授となつた

大須賀均軒の父神林復所は經史詩學に長じていた。神林父子は藩校佑賢堂舊名施政堂を主宰したが石城三藩の子弟は佑賢堂に於て敎育を受けたのである神林復所は平藩の武士道頽廢しているのを見て信正に進言して藩風の清新をはかつたのである。神林の建白書は

重々奉恐候へ共全體御家にては執行の面々常より情實の御政務而已取斗御家中の面々加增役替等も多分は執政御役人の親類緣の者又は常に內宅へ出入仕候者共斗にて御座候。右樣の御家風故御家中の面々、常に不平をいだき罷在候者多分にて御座候。

何程賞典に御奉公仕候ても執政御役人に內緣も無き者又は貧窮にて御役人へ賄賂も不仕候者共は勤功も現れ不申、一生埋れ罷在候事に御座候。比儀は私も先年申上候へ共、其時は別して右樣の爲体にて御座候。且又年來御脇手御不意に付無據處儀に付て、被爲在候上候へ共、御勝手向の御役人斗たのである。以上は信正が平藩の文化方面に儘した業績である。

信正と平藩の財政政策

平藩は數代にわたつて負債を重ね信正の時代になつて七拾万兩を突然した信正は財政整理の方法として先づ用度を減じ節約をはかり一面には一藩面扶持の制によつて生活の安定をはかつた。年々負債を整理し老中加列の頃は四拾万兩の負債に減少した。後老中としての功勞によつて封替仰付けられて三千九百余石の祿高の增收を得て財政は豐かになつたのである。

以上が信正の內治政策の大要であるが幾余の公武合体の問題は次に述べることとしてこの篇を終る次第である。

（二十三年二月二十二日記）

私設專賣局檢擧へ
專賣局の監視員活動を開始

專賣局平出張所では內々私設專賣局の調査を進め主として勿來、錦、植田、湯本、內郷、小名濱、江名、豐間、四倉、小川の十ケ町村に亘つて監視員を繰出し聞込みを得て情報の蒐集に努めていたが、いよいよ本腰と見なされる某所へ近く平區裁の捕狀を得て乘込むことに決つた、今回は郡內でもトップ仕掛けの大掛りな私設專賣局があるとの情報でこの發見に主力を向けたため檢擧數もすくなく三十件で大した大物はなかつた、なお市內では城山を急襲したが煙玉に驚つたものは五件で、葉タバコ二、三貫隱してあつた程度、今度は鉾先を鎌田、月見町方面に向けるべく準備中、大掛りな私設專賣局は必ず擧げて見せると同出張所では意氣込んで續行の調査を進めている

注意あつたが學校に來た子供の服裝は相當親心の程が見られた

神經科　內科　精神科　電15
市役所前　アラタメ小路　新田目醫院

火災等には御注意を

全選のストに當り消防團側の要求

全選のストに平局支部も同調十五日午前零時を期し一日ストを決行することになつたが平消防團では火災發生の場合は大事に至る恐れがあるので各家庭に於ては充分火災豫防に注意されたいと警告を發した

借金を貯金に
加入定額を

市が第一の策に

市では新制中學校の備品設備等の資金として平局を通じ百五万円を大藏省預金部から借入れることになつたが、このために七十五万円の定額貯金を市內で消化しなければならぬ條件があるので各學校生徒を通じ申込書を家庭に配布して定額貯金加入運動を起すことになつた

市の罐詰類當錄店決る

平市の罐詰當錄店舖は次の如く決定

四軒町水野商店、新川町濱田屋、材木町大喜多屋、仲間町佐藤商店、田町荻野商店、二丁目小西食品店、長橋マスヤ、下平窪草野屋、五丁目生協組合、三丁目太丸屋、中平窪岩屋、田町馬目池店、紺屋町金澤屋、胡摩澤長瀨商店、大丁町梁野屋、新川町吉田商店、彌宜町菅野商店、杉平小松屋、田町白菊酒店、中町澤木屋鍛冶町玉川商店、四丁目下印、田町秋山商店、二丁目大黑屋酒店、古鍛治町十商店、研町白萩商店、田町松月堂、三丁目好溜屋、同商

松ケ岡公園
貸席　春木
女中さん入用
電九三〇

湖中の女の試寫會

十六日AM

平AMクラブでは十六日から聚樂館で公開される問題の第一人稱映畫〝湖中の女〟の試寫會を今日催す今回は會員への通知ハガキを持參すれば十六日中なら一日中いつでもよいことになつている

ダンスパーティ

MBG主催、婦人民主新聞平支局、藝術クラブ後援のダンスパーティは十三日午後六時から市內大丁町勞働會館で催される

家庭物金
建築物金
へ店イルマ商
電14・街座銀町田市平

施肥十分に

二毛作ジャガイモ

二毛作馬鈴薯の種薯植付けは木屋、五丁目武子屋、鎌田平澤商店、中町丸井屋、久保町甲高商店、鎌田高田清二、關宜町常磐炭鑛平配給所、胡摩澤鈴木商店

衣類盜まる

十二日午前三時頃市內北目町指壓療師藤森福さん（四五）方でねずみ色シングルオーバーほか洋服二點、時價一萬五千円相當を盜まれた

酒精で中毒死

湯本町三赤阿久津松雄さん（三八）は十二日午前二時半酒精中毒で死亡した

洋服
高價親切買入
平駅前白銀通り
福屋

モヒキー

夏物特に上値でいたします
（配通か金通と印鑑御持參ください）

皮膚科　泌尿器科
江尻醫院
平市材木町一二
平東寶裏（電二四八）

邦文タイピスト生徒募集
開講　四月一日
時間　自三月十日至三月三十日
◎受附期日　平市田町五五（安齋病院通）電二〇四
榮タイピスト養成所